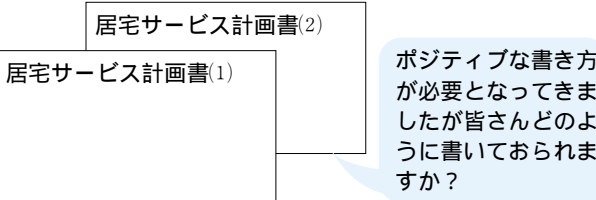


居宅サービス計画書の書き方ポイント No 1

平成15年4月よりサービス計画書を交付するようになりました。サービス提供側の計画ではなく、利用者本位の計画に、かつ、ネガティブな書き方ではなく、ポジティブな書き方で、利用者がやる気が出てくるように書かなければなりません。



今回事例提供して頂いた A さんのサービス計画書を見て頂きましょう。サービス計画書を作成したケアマネ B 子さんに工夫した点について伺いました。

- 利用者や家族の方に、どのようにお聞きするのですか? -

B子さん

「～したい」「～このようにありたい」と記録しなければならないので、まず「困っている事」を伺っています。聞き方の注意点は、一つずつ、項目を上げて「身体のことでは困っていることはないですか?」「生活での困ることはありますか? 例えば、お風呂に入るときとか、トイレに行くときなどに……」というように聞いていきます。

- 生活全般の解決すべき課題(ニーズ)の優先順位は? -

「この方は、人工骨頭置換術後なので、まず身体のことを第一に課題としました。利用者・妻とも一致しています。」

- サービス種別のセッティングはどのようにされるのですか? -

「まず、自宅から近い事業所を 事業所、事業所、×××事業所……と何カ所か提示し、本人の希望を優先します。迷っているときは、近所の人と一緒に行動が出来ますか?と聞いてみたり……」

- 課題(ニーズ)2つ目は、「健康管理」ですが、何か気になることが? -

「最近パーキンソン氏病が指摘されたそうです。C型肝炎もあり、手術後の経過受診も必要な人なので……」

- 介護タクシーを利用して受診するのですか? -

「妻が介護負担があるので、本人が希望されてのことです。2日に1回受診されます。自己負担の説明をして利用が決定となりました。サービスとセットするときは、ご家族のゆとりが影響します。限度額一杯使える人、限度額に余りがあっても使えない人、いろいろです。」

- 課題(ニーズ)3つ目は、「メリハリのある生活を送りたい」このように言われた? -

「いえいえ、妻が『しゃきっとしなさい。ぼんやりしている。』と、はっきり言われる人なので、表現を変えたのです。」

- 課題(ニーズ)は、全部で4つですか? -

「他に問題だなあと判断しサービスを勧めても『いらん』と言われるため、入れることができないのです。余分に書けば『そんなこと頼んでない。』と言われるので、サービス計画書には本人の言った言葉ばかりとなっています。計画書に書き表せない内容は、支援経過記録の方に書いております。」

- 総合的な援助の方針は、どのように作成するのですか? -

「どのように過ごしたいのかを伺います。この方にはこのように伺ってみました。」

ケアマネ: 「手術後、お体の様子はどうですか? 足が痛い?」 NO 「起きあがりとか、寝るときの動作とか、どんな感じで行っておられますか? ご自分が思ったように身体が動いてくれますか?」(実際にしてもらってみる。ベッドの種類の見直しの必要があるかどうか、見極める)

「外へ出ていけますか? 行ったりしています?」
本人: 「行っていない。でも、散歩したい。動きたい。運動した方がいいよね。」 「訪問リハビリに初回きてもらって、ベッドとか、家の中での訓練とか相談したんですね。よかったですか?」

(うなづく)「サービス、これこれうけていますが、満足頂いていますか?」

「今後も、今来てもらっているサービス続けますか?」
(うなづく)

この結果、右の表のような内容にしました。

- お渡しするときはどのように? -

「利用者・家族の前で読んでからお渡ししています。」

- 記録はどれくらい時間がかかりましたか? -

「いろいろな事情を伺いながらすすめますので利用者個々に要する時間はまちまちです。」

イメージのすりあわせが大切! 本人の望むリハビリとは何か? ケアマネジャーが考えていることとのずれを無くすこと!

事例の場合、現場でやれるリハビリについて十分に理解を得て事業所を利用できるように計りました。

ベッドのレンタル時は、PTに同行訪問してもらい、てすりや移動バーの設置、角度を決める際は、実演しながら、利用者に最適であるか、納得してもらえたか、確認することが大切です。

……インタビュー・事例提供ありがとうございました。……

取材 広報委員長 津田祐子